

ドイツ語2

科目ナンバー 0A132
総合基礎 選択 1単位

金成 祐人

1. 授業の概要(ねらい)

ドイツはEU経済の中心であり、美しい町並みや自然景観、音楽や文学、哲学などの魅力溢れる国です。この講義では、日常的な場面のドイツ語会話を学び、ドイツ語初級レベルの「聞く、話す、読む、書く」の四技能を習得します。実際のコミュニケーションに使えるようにするため、グループワーク等を取り入れた講義を行ないます。発音は規則通りに読めるものが多く、それほど難しくありません。声に出してみながら楽しんで学んでいきましょう。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連します。

2. 授業の到達目標

- ・学生は、ドイツ語で挨拶や自己紹介など簡単なコミュニケーションが取れる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語で簡単な文を書ける。(技能)
- ・学生は、日常的なドイツ語会話を聴き取り理解することができる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語の短い文を読み解くことができる。(技能)
- ・学生は、初級レベルの文法知識を習得する。(知識・理解)

3. 成績評価の方法および基準

定期試験: 60%、小テスト: 40%

小テストについて、LMS 上でフィードバックを行ないます。

4. 教科書・参考文献

教科書

秋田静男ほか 『イン・ドイチュラント——ドイツ語インフォメーション 映像付——』 朝日出版社、2016年

ISBN: 978-4255253886

参考文献

在間進編 『アクセス独和辞典』第4版 三修社、2021年

ISBN: 978-4384060003

(他の辞書でも可)

在間進編 『アクセス和独辞典』 三修社、2012年

ISBN: 978-4384043211

(他の辞書でも可)

常木実 『標準ドイツ語』(新訂版) 郁文堂、1970年

ISBN: 978-4261070972

5. 準備学修の内容

- ・準備学修として、次回の講義範囲について単語の意味を調べてノートにまとめてください。(30分)
- ・事後学修として、文法事項や単語を確認し、練習問題で間違ったものをノートにまとめてください。また、テキストの音声・映像を活用し、発音・聴き取りの練習をしてください。(60分)

6. その他履修上の注意事項

前期「ドイツ語1」と後期「ドイツ語2」の受講によってドイツ語の基礎を習得できますので、前期の「ドイツ語1」を履修しておくことが望ましいです。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、前期の復習
- 【第2回】 Lektion 7:これからカフェに行きましょう①(前置詞)
- 【第3回】 Lektion 7:これからカフェに行きましょう②(前置詞と定冠詞の融合形)
- 【第4回】 Lektion 8:犬の写真を撮ってもいいですか?①(話法の助動詞、話法の助動詞の現在人称変化)
- 【第5回】 Lektion 8:犬の写真を撮ってもいいですか?②(話法の助動詞の主な意味)
- 【第6回】 Lektion 9:その列車は何時に出発するの?①(分離動詞、命令形)
- 【第7回】 Lektion 9:その列車は何時に出発するの?②(時刻表現)
- 【第8回】 前半の復習
- 【第9回】 Lektion 10:サッカーに興味があります①(形容詞の格変化)
- 【第10回】 Lektion 10:サッカーに興味があります②(再帰代名詞と再帰動詞)
- 【第11回】 Lektion 11:モーツァルトだったよね?①(動詞の三基本形)
- 【第12回】 Lektion 11:モーツァルトだったよね?②(過去人称変化)
- 【第13回】 Lektion 12:ミュンヘンで何を見物したの?①(現在完了)
- 【第14回】 Lektion 12:ミュンヘンで何を見物したの?②(分離動詞の現在完了)
- 【第15回】 テスト、まとめ